



チャイニーズティーマスター 小田 純也による
世界 中国茶紀行

Vol.9 広東省の銘茶、鳳凰単欃



中国料理 香桃で人気のお茶「鳳凰単欃（ほうおうたんそう）」。一度、耳にすると印象に残る茶名です。

鳳凰単欃の特徴は、茶葉本来が持つトロピカルフルーツのようなインパクトのある香りです。その香りに魅了され、ファンになる方が多いお茶です。

鳳凰山の風景

舞台は中国・広東省の山の中。古くからお茶づくりが盛んな福建省との省境近くに、鳳凰単叢が採れる鳳凰山があります。



鳳凰山もまた長い歴史をもつ烏龍茶の産地です。鳳凰山とは一つの山の名称ではなく、海拔 1,000m 級の複数の山で構成されています。

懐深い山々の中でも特に烏嶺（ウートン）山という山に、高品質な鳳凰単叢が集中しています。



お茶の産地として長い歴史がある鳳凰山には、樹齢 200 年以上の大茶樹が 3,700 株以上、さらに樹齢 800 年級の古茶樹もたくさん生育しており、これらは私の身長よりも高く、お茶摘みは樹によじ登って行われています。



太くたくましい茶樹はしっかりと大地に根を下ろし、幹に生える苔からは年月を如実に感じます。



烏嶺山の頂に立ち、緑豊かな山景を臨むと、360 度どこに目を向けても青々としたお茶の樹が生い茂っています。そのスケールは果てしなく、まるで鳳凰山一帯が「茶山」の印象を受けるほどです。



その茶山のいたるところに、ゴツゴツとした大きな岩が姿を見せ、お茶の樹はそれらの岩場を縫って根を張り巡らせています。

一般的に鳳凰単欐の風味を「山韻」と表現しますが、私は「山韻＋岩韻」と表現したいと感じているぐらいです。

伝統の鳳凰山の茶

鳳凰烏龍茶の名称には、「鳳凰単欐 蜜蘭香（みつらんこう）」のように、「単欐」という表記、そして香りの名称が後ろに表記されています。

現在のように接ぎ木や挿し木栽培が行われる以前は、種まきから行われていました。

種子から生まれてくる茶樹は、親樹とは違う個性をもち、そのため香りが親樹とは異なると考えられた結果、収穫は樹ごとに行い、他の樹から収穫した葉は混ぜないように行われていました。



つまり特定の一株の樹から収穫した葉だけでつくられてきたことから、「一株（＝単叢）」という表記が用いられ、鳳凰単叢の茶名に由来します。

そして「鳳凰単叢」の後ろに、その香りや味わいの違いにより例えられる、黄枝香、姜花香、桂花香、杏仁香、玉蘭香、通天香、蜜蘭香、芝蘭香、桃仁香、夜来香、東方紅などの名称が付けられています。

これは茶樹がもつそれぞれの個性を大切にするこの地方特有の伝統文化です。



杏仁香



小宋種



蜜蘭香



東方紅



通天香



姜花香



玉蘭香



桂花香

中国料理 香桃では、中国料理の中でも広東料理を基本とした料理をご提供しております。同地方で採れるフルーティーで香り高い「鳳凰単叢」を料理のお供にお楽しみいただいております。

撮影：小田 純也

中国料理 香桃

レストランのご予約・お問い合わせ

TEL 06-6343-7020 (直通)

営業時間 10:00 a.m. ~ 7:00 p.m.

rc.osarz.restaurant.rsv@ritzcarlton.com

ザ・リッツ・カールトン大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 25 号